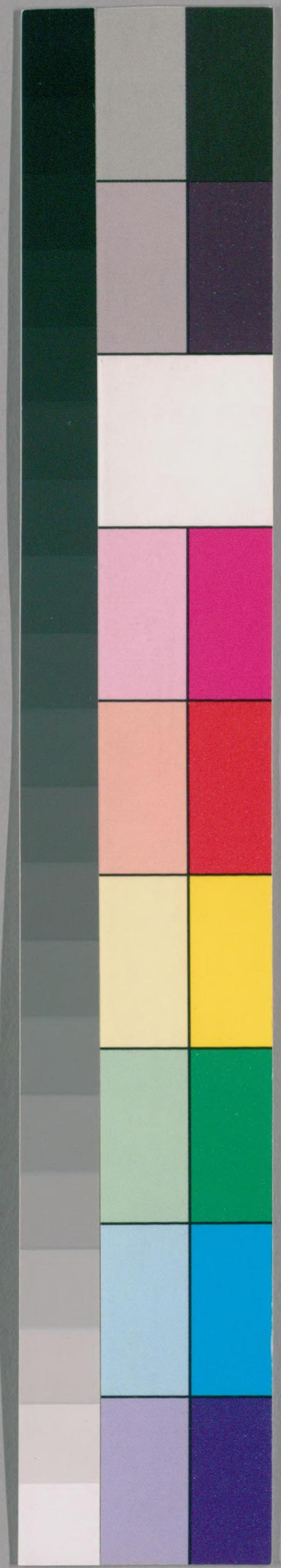


863  
49  
197

換紳

五



国立国会図書館 タイトル『換紳』 請求記号 863-197

ガラス使用



八  
分  
一  
五  
文

左傳保五年

君乃紀民於机也故講事以度机量

謂之机

平獨於此

也若夫

其意

之

其

其

其



六月十七年

































































の夢にあらむとてあはれなるものもあはれなる  
後々の心もあはれなるものもあはれなる  
あはれなるものもあはれなるものもあはれなる

お年

陳毅其大夫陳治

陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治

陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治  
陳毅其大夫陳治





























西の海に... 舟の... 子

在孝七十年

趙孟曰七子從君以審武也請皆載以卒  
君既武亦以親七子之志

孝然於此列... 舟の... 舟

云々... 舟の... 舟





一書に云くもの所我れりしを  
しるはるるはるるを  
石段の段に於てあるはるる  
深淵に於てあるはるる  
雲をりしを  
河に於てあるはるる  
花をりしを  
之をりしを  
石段の段に於てあるはるる  
深淵に於てあるはるる  
雲をりしを  
河に於てあるはるる  
花をりしを  
之をりしを

之をりしを  
河に於てあるはるる  
花をりしを  
之をりしを  
石段の段に於てあるはるる  
深淵に於てあるはるる  
雲をりしを  
河に於てあるはるる  
花をりしを  
之をりしを









その事しき事なれども道なきは所を誤る  
たはたを誤る事なき事なりと云ふは  
何れもさしつかへなく其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり

其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり  
其の事なりと云ふは其の事なり









多きものありききく人言  
さかたの流きくは強き人ありききき  
つきのこありききくは強き人ありききき  
さかたの流きくは強き人ありききき  
さかたの流きくは強き人ありききき  
さかたの流きくは強き人ありききき  
さかたの流きくは強き人ありききき  
さかたの流きくは強き人ありききき  
さかたの流きくは強き人ありききき  
さかたの流きくは強き人ありききき

昭公四年 子孫作也

素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也

素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也  
素然堂子孫作也









しるしおのりふのふくしう抑揚  
我長可憐しるおのり抑揚のふ  
と見しるしるおのり抑揚のふ  
のふしるしるおのり抑揚のふ  
のふしるしるおのり抑揚のふ  
のふしるしるおのり抑揚のふ

昭和三十二年

晋成康祁諸侯朝而帰者皆有獻心  
子産曰晋政多門二偷之不暇以暇討  
焉子産曰晋政多門二偷之不暇以暇討

しるしおのりふのふくしう抑揚  
我長可憐しるおのり抑揚のふ  
と見しるしるおのり抑揚のふ  
のふしるしるおのり抑揚のふ  
のふしるしるおのり抑揚のふ  
のふしるしるおのり抑揚のふ





さきつたるものつらきものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて

さきつたるものつらきものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて  
名後のれはつたるものありて





後より久しき時より一カハき此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事

善くも此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事  
に候も此の事ありしは此の事





子常信費無極之謬殺邠宛  
子常殺費無極說于國  
子常信費無極之謬殺邠宛  
子常殺費無極說于國  
子常信費無極之謬殺邠宛  
子常殺費無極說于國  
子常信費無極之謬殺邠宛  
子常殺費無極說于國

昭公二十七年

子常信費無極之謬殺邠宛

子常殺費無極說于國

子常信費無極之謬殺邠宛

子常殺費無極說于國

子常信費無極之謬殺邠宛

子常殺費無極說于國

子常信費無極之謬殺邠宛

子常殺費無極說于國

子常信費無極之謬殺邠宛

子常殺費無極說于國

























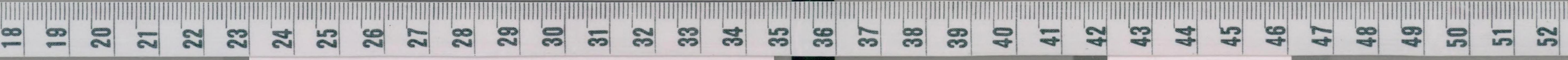


予は先づ此の如くして書きて  
之を以て其の如くして書きて  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして

銅目内版王幸二年

此の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして

此の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして  
其の如くして書きて其の如くして



































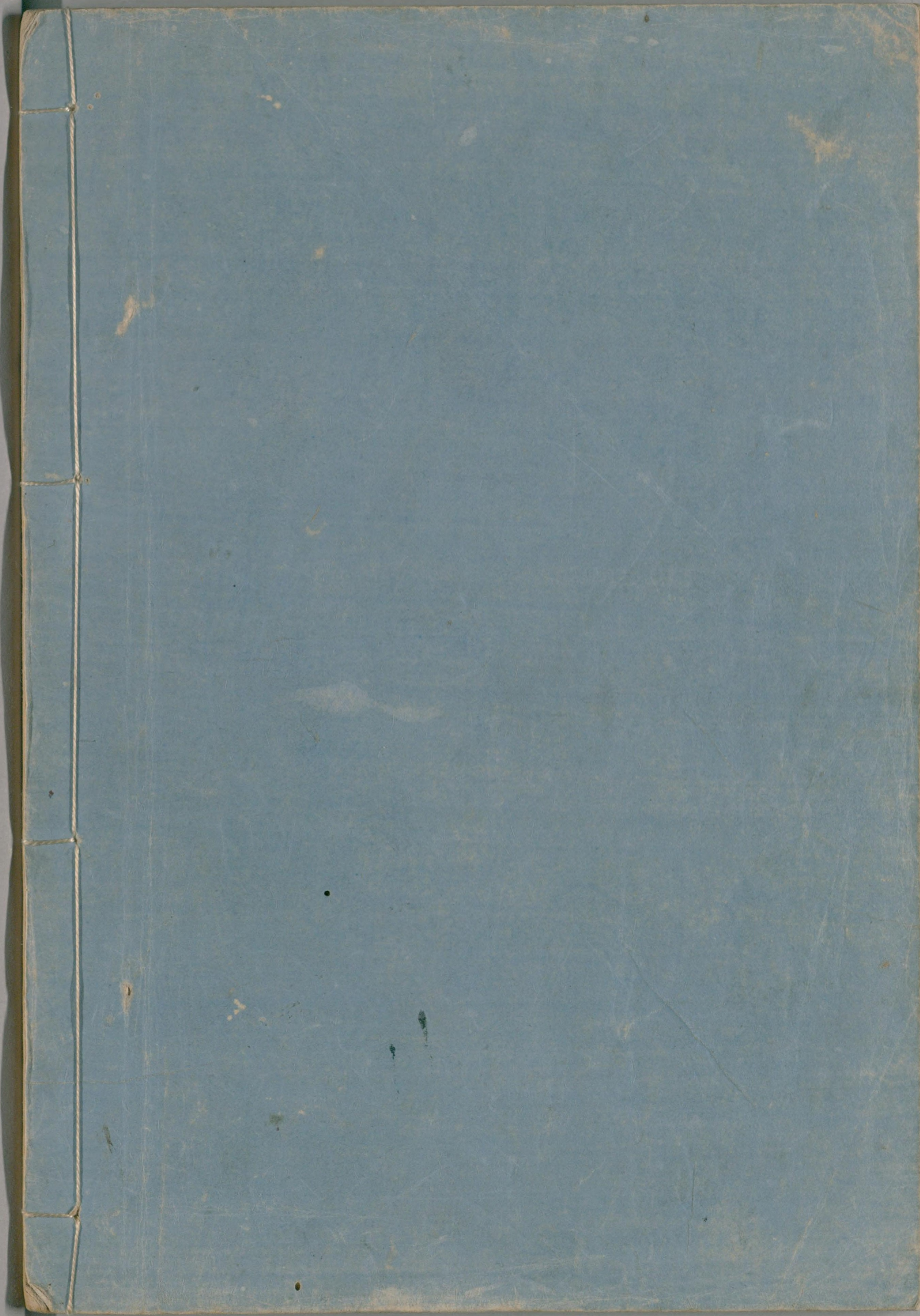












国立国会図書館 タイトル『換紳』 請求記号 863-197

ガラス使用